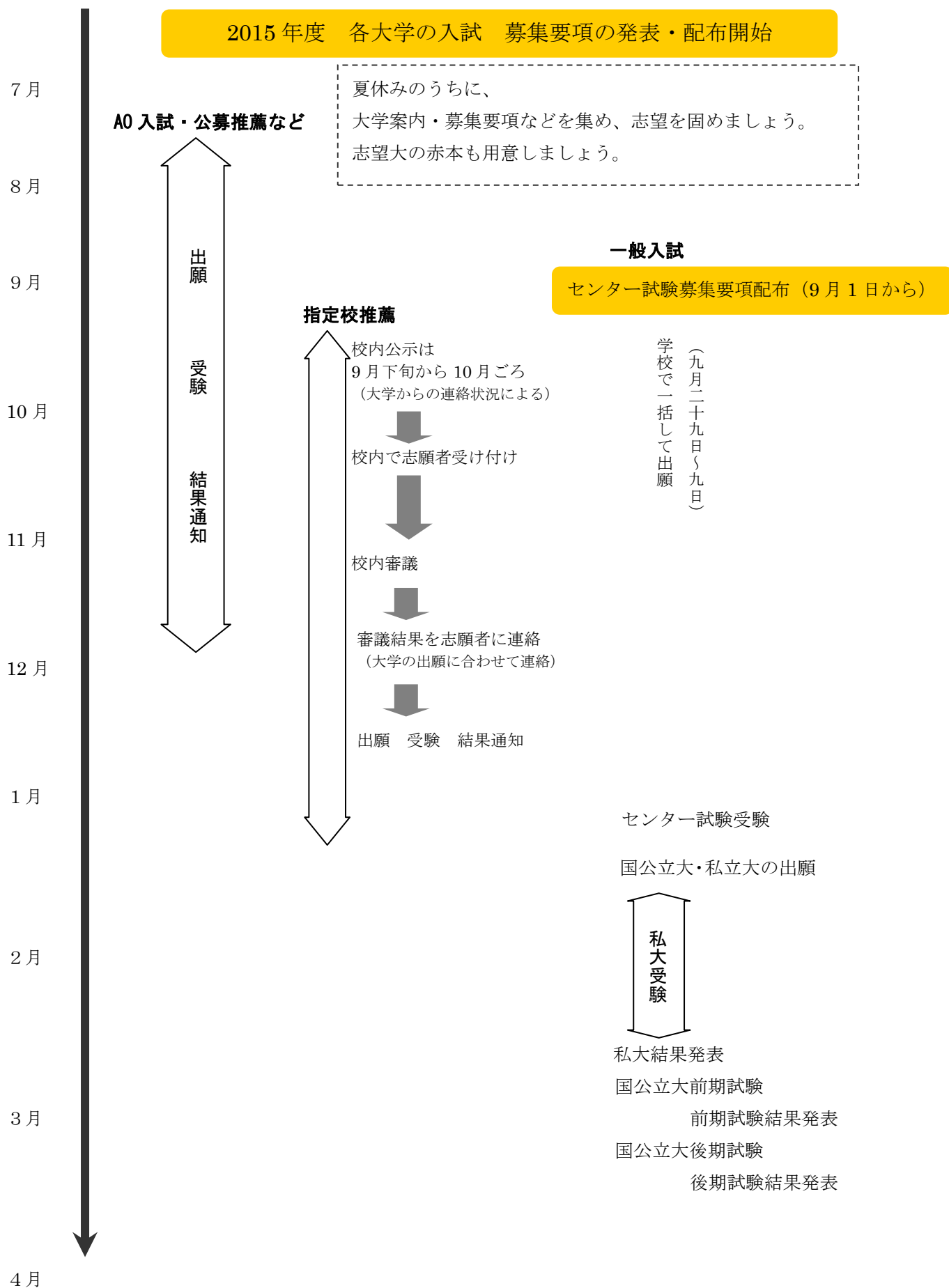


H 3 受験に向けて

夏休みの宿題

- ◇ 保護者の方と進路についてよく話し合う
- ◇ 受験する者は、大学センター試験受験案内（要項）を入手すること
（詳細は3ページを参照）
- ◇ できるだけ志望大の大学案内・入試要項を入手しよう
- ◇ 志望理由書を2学期初めに提出してください

大学入試のスケジュール



2015年度入試 スケジュール

2014.6月現在

	国公立大学		私立大学 短期大学
	分離・分割方式	中期日程(公立大学のみ)	
2014年			
7月	31日まで	選抜要項(日程・定員・出題科目・時間・配点など)発表	AO入試
9月	1日～	大学入試センター試験 受験案内配付	
	9月1日～10月9日	大学入試センター試験 検定料等払込	
10月	9月29日～10月9日	大学入試センター試験 出願	推薦入試
11月			
12月	～15日	募集要項発表	出願 一般入試(2月) 合格発表・入学手続 一般入試(3月)
2015年			
1月	17・18日	大学入試センター試験(本試験)	
	17・18日	大学入試センター試験 正解等の発表	
	21日予定	大学入試センター試験 平均点等の中間発表	
	～23日	推薦入試(大学入試センター試験を課さない場合)結果発表	
	23日予定	大学入試センター試験 得点調整実施の有無の発表	
	24・25日	大学入試センター試験(追試験・再試験)	
	26日～2月4日	2次(個別)試験 出願	
2月	5日予定	大学入試センター試験 平均点等の最終発表	
	～11日	推薦入試(大学入試センター試験を課す場合)・AO入試結果発表	
	～11日	第1段階選抜の結果発表(前期)	
	～18日	推薦入試・AO入試合格者の入学手続	
	25日～	前期日程試験	
	～28日	第1段階選抜の結果発表(後期)	
3月	1日～10日 (国立は6日～)	合格発表	
	12日～	後期日程試験	
	～15日	入学手続	
	20日～24日	合格発表	
	～27日	入学手続	
	28日～	追加合格者発表 欠員補充第2次募集 出願・試験	
	～31日	入学手続(第2次締切)	
4月	16日～	大学入試センター試験 成績の本人開示	

※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。

※私立大学のAO入試は夏以降、年間を通じて実施されています(原則8月1日以降出願スタート)。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。

センター試験出願手続き～夏休み中に必ずすること～

①センター試験の受験案内(要項)をもらいに行く。

各自最寄の大学に直接出向き、受験案内を入手する。記入を誤ったときに備え、2部入手しましょう。
(中に、受験料の振込用紙と志願票がはいっています。)

②検定料を納付する。納付期間は9月1日(月)～10月9日(木)

検定料を納付する時に決めること

1. 受験科目数

(2科目以下受験 もしくは 3科目以上受験)

2. 成績開示の希望の有無

※成績の開示は来年度4月になってからです。

受験料 (受験科目・開示希望有無)

	2科目以下	3科目以上
開示なし	12000 円	18000 円
開示	12800 円	18800 円

返却される部分

払込書

これを使って、郵便局か銀行で検定料を支払う。

その場で必ず「受付局日付印」が押されていることを確認すること。

DとEの部分が返却されるので、Eの部分を来学期学校にもって来ること(Dは各自の控えです)。Eは志願書に貼り付けます。

受験料納付は日本からしか出来ません。帰国予定のない人は、必ず上の①、②を誰かにお願いしてやってもらってください。ただし、志願者の欄には受験者本人の氏名を記入してもらうこと。

夏休み後、学校へ忘れずに持って来なければならないもの

①検定料受付証明書E

②受験案内の冊子2部 (志願票は未記入のまま持ってくる)

③確認ハガキの送付先の住所・電話番号(これが受験地となります)

帰国生試験、自己推薦等について

● 帰宅後すぐに試験要項を手に入れること。

→ ・出願期日、試験日程を確認

・出願資格を確認（在外教育施設は可か、保護者の海外駐在歴の規定、評定平均、英検等の資格）

・校長推薦、担任推薦等は必要か、を確認

・専願のみか、併願も可か、を確認

→ 学校に連絡する

● 過去数年間の帰国生試験・自己推薦結果一覧

大学学部学科	種別	試験	結果
筑波大学 社会国際学群国際総合学類	一般公募 ＜校長推薦＞	小論文、面接	不合格
筑波大学 生命環境学群生物学類	一般公募 ＜校長推薦＞	小論文、面接	不合格
筑波大学 芸術専門学群	一般公募 ＜校長推薦＞	小論文、面接、実技	合格
大阪府立大学 理学部生物科学科	一般公募 ＜校長推薦＞	センター試験結果	合格
岩手医科大学 薬学部	一般公募 ＜校長推薦＞	筆記試験、面接	合格
北里大学 獣医学科動物資源学科	一般公募 ＜校長推薦＞	作文、面接	合格／不合格
和歌山大学 観光学部	一般公募 ＜校長推薦＞	面接	不合格
駒澤大学 経営学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	合格
京都外国語大学	一般公募	筆記試験、面接	合格
金城大学 人間科学部	一般公募	筆記試験、マーク式	合格
慶應義塾大学 法学部	AO 入試	書類審査、論述等	合格
慶應義塾大学	一般公募	書類審査(一次)	不合格
国際医療福祉大学 理学療法学科	一般公募	筆記試験、面接	合格
上智大学 外国語学部	海外就学受験者(帰国生)	小論文、面接	不合格
上智大学	帰国子女枠	筆記試験、面接	不合格
成城大学 文芸学部 経済学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格 不合格
専修大学 経済学部国際経済学科 文学部	帰国子女枠 (保護者海外歴必要なし)	作文、面接	合格 不合格
法政大学 法学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格
中央大学 法学部	一般公募	筆記試験、面接	不合格
中央大学 商学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	不合格
東洋大学 経済学部	帰国子女枠	筆記試験、面接	合格
日本大学 文理学部	自己推薦入試	筆記、面接	不合格
日本大学 商学部 法学部	帰国子女枠 (保護者海外歴二年間)	筆記試験、面接	不合格 不合格
東京薬科大学 薬学部	一般公募	筆記試験	合格
南山大学 人文学部 外国学部	外国高等学校卒業生入試 (立教英国学院認定)	筆記試験、面接、作文	合格 合格
早稲田大学	一般公募	書類審査(一次)	不合格
上智大学 総合人間科学部看護学科	帰国生入試	筆記、面接	合格
東洋大学 経済学部	帰国生入試	筆記、面接	合格
駒澤大学 経済学部	帰国生入試	筆記、面接	不合格
日本大学 理工学部	一般公募	筆記、面接	合格
慶應義塾大学 文学部	推薦入試	書類審査、論述等	不合格
京都女子大学 現代社会学部	一般公募	筆記、面接	不合格
玉川大学 芸術学部	帰国生入試	筆記、面接、実技	合格
東京工芸大学 芸術学部	帰国子女入試	筆記、面接、実技	合格
多摩美術大学 芸術学部	帰国子女入試	筆記、面接、実技	不合格
法政大学 グローバル教養学部	自己推薦特別入試	筆記、面接	不合格
防衛大学校	推薦入試	小論文、面接、身体検査	不合格
東京外国語大学 言語文化額学	一般公募 (校長推薦)	センター試験	不合格
神戸大学 医学部	AO 入試	センター試験	不合格

AO・公募推薦入試とは？

■推薦入試制度

(1) AO 入試

AO とは Admission(s) Office のことであり、独自の入学者選抜機関が入学者選抜を行うというものです。日本では慶應義塾大学が最初に AO 入試を行ったことで有名です。

書類審査と面接による選抜が主ですが、大学によりその選抜方法は大きく異なります。自分で自分自身を推薦し出願するものがほとんどであり、ということは学校長の推薦がいらないという事が言えます。

●AO入試は「個性」「意欲」「姿勢」「適性」を重視！

公募推薦入試が学力や活動面を重視するのに対し、AO 入試は大学への「個性」「意欲」「姿勢」「適性」が大きなポイントとなります。ですので、選抜方法は書類審査と面接を通し、生徒個人を多角的に審査していきます。その他にも大学によっては、大学の模擬講義を受け、その後その講義に関するレポートを作成させたり、グループディスカッションで討議能力を審査したりなど、様々な方法で選抜を行っていきます。まさに「大学生としての適性」が試される試験といえるのです。

出願に関しては、成績面での基準がない大学が多いのも特徴です。あくまでも学力試験では測れない生徒の個性や適性を重視するということです。言い換えれば、だれでも出願が出来るということになりますが、勿論、簡単に合格はできません。公募推薦に比較し倍率が高めになることも多く、だからこそしっかりと対策が必要になるということが言えます。

慶應大 SFC や法学部、早稲田大の国際教養学部や政治経済学部など多くの私立大、横浜市立大学などの国公立大で実施しています。

1. 人間力＝面接や志望理由書、小論文試験などであなたの人間力が判断されます。
 2. 資格＝英語力(TOEFL TEST や英検など)が高いほど有利になるケースが多々あります。
 3. 学校の成績＝学校の成績は合否判定に算入しない大学もありますが、判断材料のうちのひとつです。
- ※AO 自己推薦は、ほぼ例外なく他大学との併願が可能です。

(2) 公募推薦入試型

指定校と性格は良く似ていて、「学校長の推薦を得る」ことが基本的な出願条件となります。もちろん、全ての大学ではありませんが、大半の大学はこの条件の下、生徒募集を行います。

多くは出願に必要な数種類の書類を作成し提出、その後小論文試験や面接などを経て合否が決まるというのが一般的です。国公立大ではセンター試験を課す大学とそうでない大学とに分かれます。これにより出願日が大きく異なってきますので注意が必要です。

指定校と違い、出願することでほぼ合格するということはなく、倍率も大学によって様々となります。比較的に出願しやすい条件の大学が多いですが、ライバルもいるわけですから、万が一不合格だった場合の事を考えて、一般入試の対策もおそろかにできません。ここが公募推薦を受験するにあたってのポイントとなります。

主に学業成績である評定平均が出願条件となる大学が多く、この条件をクリアしていないと出願自体できません。しかし、全ての大学が基準を高くしているわけではなく、3.0 程度で出願できるところから、高いところで 4.5 など、評定平均の幅は様々です。その他、スポーツやクラブ活動、文化活動、課外活動や保有資格などの実績を評価し選抜する「ユニーク推薦」というものもあります。高校生全員が保有できるものではないことから、倍率も高くないことが多々あります。また学校長ではなく、自分自身が自分を評価し推薦する「自己推薦」なるものもあります。

冒頭で述べたとおり、基本的には「学校長の推薦を得る」ことが条件となります。ということは指定校推薦と同じでその高校の代表者であり、結果、専願のみの募集というのが大半です。指定校推薦と同じく入学辞退はタブーとされる、という事です。

公募推薦は、上智大学、日本大学、獨協大学、明治大学など多くの有名私立大学のほかに、千葉大学など国立大学でも実施されています。

1. 学校の成績＝評定平均 4.0 以上などが受験資格となっています。
 2. 人間力＝面接や志望理由書、小論文などであなたの人間力が判断されます。
 3. 資格＝多くの場合、TOEFL iBT TEST で 61 点以上または英検 2 級など英語資格が最低条件となっています。
- ※多くの大学が上記①③を絶対条件にしています。上智大国際教養学部は TOEFL TEST で 79(iBT)点、評定平均 4.0 以上などの絶対条件を設けています。

(3) 指定校推薦入試

大学側より指定した高校から生徒を選抜する推薦入試です。主に選抜方法は、高校在籍時の評定平均により選抜されます。しかしながら、各大学学部からは1、2名の募集ということが大半であり、その少ない席を巡って同高校内で争うこととなります。選抜されればほぼ合格となることが多い推薦ですので、熾烈な争いになるのは目に見えており、普段からしっかりと学内テストで結果を出している生徒が有利になることは間違いありません。

勿論、その高校を代表してその大学に進学するようなものですから、入学辞退はタブーとされています。なぜならば、高校と大学とのパイプに影響を与えてしまうからです。ですので、出願がかなう大学に関してはよく調査して、自分に合っているかを見極めることも非常に重要なことといえます。

※学校の成績＝学校の評定平均や出席日数などで決まります。

★推薦入試と AO 入試の違い

AO 入試は原則として高校の推薦書が不要です。推薦入試と AO 入試の最大の違いは、AO 入試では原則として高校の推薦書が必要ないということです。だから大学が提示した応募条件を満たしていれば誰でも応募することができます。また推薦入試では評定平均値が一定以上など、学業成績の基準が設けられていることがほとんどですが、AO 入試ではその基準があるのは少数派です。そのぶん AO 入試では、どうしてもその大学に入学して真剣に学びたいという意欲が重視されます。当然、志望大学の中身を良く知ることが必要になる訳です。大学のパンフレットやシラバスなどを入手して熟読しておきましょう。

★AO 入試例

慶応大学環境情報・総合政策学部例（2013 年度入試例）

募集人員	4月学Ⅰ期・Ⅱ期、9月入学、海外出願、GIGAプログラム(環境情報学部のみ)をあわせて総合政策学部・環境情報学部ともに100名、両学部合計200名	
選考方法	A方式 1次選考(書類審査)、2次選考(面接) B方式 1次選考(書類審査)、2次選考(面接) C方式 1次選考免除、2次選考(面接)	
<総合政策学部例> 出願期間および選考日程	2013 年 4月入学Ⅰ期 A・B・C方式	・出願期間 : 2012年7月2日(火)～8月8日(火) ・1次合格発表 : 2012年9月27日(木) ・2次選考 : 総合政策学部2012年10月6日(土) 環境情報学部2012年10月7日(日) ・2次合格発表 : 2012年10月9日(火)
	2013 年 4月入学Ⅱ期 A・C方式	・出願期間:2012年9月18日(火)～10月24日(水) ・1次合格発表 : 2012年11月29日(木) ・2次選考 : 2012年12月8日(土) ・2次合格発表 : 2012年12月10日(月)
	2013 年 9月入学 A・C方式	・出願期間:2013年5月7日(火)～2013年6月19日(水) ・1次合格発表 : 2013年7月11日(木) ・2次選考 : 2013年7月20日(土) ・2次合格発表 : 2013年7月22日(月)
出願書類(A方式例)	<Web入力するもの> ア. 志願者に関する履歴等 イ. 志願者評価 ウ. 活動報告 エ. 志望理由・入学後の学習計画・自己アピール(①文章および②自由記述) オ. 任意提出資料(資料がある者のみ) <郵送で提出する書類> カ. 入学志願票 キ. 入金票(「AO入試入学検定料銀行振込受付証明書」(B票) 貼付) ク. 成績・卒業に関する証明書等(厳封されたもの) ケ. 国家試験等の統一試験の成績証明書(外国の教育制度による高校出身者のみ) コ. 日本語能力試験結果/日本語学習履歴関係書類(日本語を母語としない者のみ) サ. 登録原票記載事項証明書(日本国内から出願する外国籍の者のみ)	

他にも AO 入試・自己推薦入試を行う大学は多数あります。興味のある人は調べて、試験要項を必ず手に入れよう。

受験に際しての注意

- 進路の決定には、模擬試験の結果を参考にして下さい。夏休み後の模擬試験で少なくとも C 判定が出ていますと、その後の学習努力によって志望校が圏内に入ってくる可能性が広がります。夏休み中にも予備校に個別に申し込むことで模擬試験は受けられます。8 月中～下旬のものは、夏休みの努力が表れますので受けてみるとよいでしょう。
- AO 入試、公募推薦入試、帰国生入試（指定校推薦以外の入試）の併願は可能です。
但し、『合格した場合は必ず進学する』ことを条件とした入学試験は、他の入試と併願で受けられないことがあります。入試要項をよく読んで下さい。
- AO 入試・公募推薦入試・帰国生入試と、指定校推薦の併願はできません。指定校推薦の前に、AO 入試などの出願をすることは可能ですが、受験した場合指定校推薦の出願資格を失いますので注意して下さい。
- 指定校推薦の校内審査は、大学の示す要項にしたがって行われます。校内審査の結果は出願時期に併せて、希望者に通達されます。時期が 11 月下旬から 12 月初旬になることも多くあります。この場合に、校内審査を通らなかったで AO 入試を受けてみよう、といったことはほぼ出来ませんので、注意して下さい。指定校推薦に希望を出すことは、同時に、結果が思わしくなかったときには一般受験をすることを念頭において準備して下さい。
- AO 入試や公募推薦など 2 学期に入試があるものを考えている場合は、夏休み中に入試要項を取り寄せて準備を整えて下さい。必ず入試要項を 2 学期に持ち帰ってきて下さい。書き損じにそなえて、要項は 2 部用意しておくで安心です。
- 夏休み中（冬休み・年明けも）に調査書の発行を依頼する場合は、生徒本人が学校へ連絡して下さい。時間に余裕をもって連絡して下さい。2 週間ほど前までが目安です。急を要する場合は国際速達便を使って送りますが 5 日程度はかかると考えて下さい。郵送料は個人負担となります。
連絡の際に伝えることは ☐ 受験する大学・学部・学科
☐ 受験する入試の種類（AO 入試、公募推薦、帰国生入試など）
☐ いつまでにほしいか
- 入試の種類にかかわらず、発行した調査書を実際に大学に提出しなかった（出願をしなかったので使わなかった）場合は、必ず学校へ返却して下さい。
- 2 学期に受験のために一時帰宅しなければならない場合は、保護者の方から連絡してもらって下さい。入学試験に重複している・翌日であるなどのやむを得ない場合を除き、期末考査は原則として受験できるよう予定を立ててください。
- 休暇中などに学校へ連絡・相談する必要がある場合には、学校へ直接電話を掛けて下さい。休暇中でも日直の先生が待機していますので、伝言してもらえます。日直の先生が席を外しているときは、掛け直すか、電話に出た英人スタッフに伝言を残して下さい。
連絡先は、+44-(0)1403-822107
- センター試験出願については、別紙（3 ページ）を参照のこと。

夏休みの勉強について

- ◇ 夏休みは『受験の天王山』
- ◇ 基礎がためをじっくり行おう
- ◇ 志望大の赤本を入手しよう

夏休みは『受験の天王山』と言われ、この長い休みをどう過ごすかが受験の分かれ目となります。授業・行事・日常生活に追われがちな1学期中と違って、2ヵ月じっくり勉強に取り組めます。毎日8時間でも10時間でもそれ以上でも、時間をたっぷり使ってじっくり勉強に取り組んでください。

学習の目標は『基礎がため』です。応用力養成は2学期に入ってからでもよいと言われます。けれども応用力を養うには、基礎がなければ出来ない。高1からの3年間の学習の総まとめを行い、基礎力をつけてきましょう。

2学期の学習に向けて、受験勉強の題材となる参考書・問題集を改めて見直し、必要があれば用意しましょう。特に『赤本』。志望大の過去問題集を手に入れ、2学期に取り組めるようにしましょう。

【参考資料】代々木ゼミナール模擬試験 2014 年度スケジュール

出題内容・申し込み方法など詳細は、代々木ゼミナールに問い合わせてください。

駿台予備校など他の予備校も調べて受験してみてもよいでしょう。

2 学期にある模試は、取り寄せて学校で受験することもできます。

		大学別入試プレテスト
7 月	7/13(日) 全国論文テスト 7/20(日) 第 2 回全国センター模試	7/12(土)・13(日) 第 1 回東大入試プレ 7/27(日) 第 1 回京大入試プレ
8 月	8/24(日) 第 2 回全国総合模試	8/10(日) 第 1 回早大入試プレ 8/17(日) 九大入試プレ
9 月	9/28(日) 全国センター模試	
10 月	10/12(日) 第 3 回全国総合模試 10/26(日) 国公立医学部模試	
11 月	11/16(日) 私立医・歯・薬模試 11/30(日) センター試験プレテスト	11/2(日) 東北大入試プレ 阪大入試プレ 11/3(祝) 一橋大入試プレ 東工大入試プレ 名大入試プレ 11/9(日) 第 2 回京大入試プレ 第 2 回早大入試プレ 岡大入試プレ 11/16(日) 北大入試プレ 広大入試プレ 熊大入試プレ 11/22(日)・23(祝) 第 2 回東大入試プレ 11/23(祝) 神戸大入試プレ ※岡大・広大入試プレは中部以西、 熊大入試プレは近畿以西のみで実施。
12 月	12/7(日) 第 4 回 全国総合模試 12/14(日) 第 2 回 国公立記述模試	12/31(水) 慶大入試プレ

指定校推薦について

現在の所、指定校推薦が来ている大学・学科の一覧です。進路について、夏休み中にご両親とよく相談しましょう。

聖心女子大学	文学部
聖路加看護大学	看護学部
桃山学院大学	学部指定なし
立命館アジア太平洋大学	学部指定なし
早稲田大学	基幹理工学部 学系 I
関西学院大学	経済学部
	総合政策学部
	教育学部
	国際学部
	社会学部
東京理科大学	理工学部 経営工学科
立教大学	学部指定なし
立教女学院短期大学	現代コミュニケーション学科
	幼児教育科

*以下の大学は、昨年度は案内が来っていて、今年度はまだのもの。

法政大学	社会学部 社会政策科学科
同志社大学	商学部 商学科
	理工学部 インテリジェント情報工学科
上智大学短期大学部	英語科
南山大学	総合政策学部 総合政策学科